

平成 29 年度 第 1 回学校評議員会 報告

1 日 時 平成 29 年 7 月 26 日 (水) 15:30～16:30

2 場 所 本校 会議室

3 出席者

学校評議員 3人 諏訪泰幸氏(雫石町商工会理事)、熊谷定士氏(盛岡西警察署雫石交番所長)
大倉 徹氏(雫石中学校長)

(欠席 藤本和喜氏(前 PTA 副会長)、安保 勲氏(盛岡西消防署雫石分署長))

本校職員 4人 校長、副校長、事務長、教務主任

4 会議内容

・県教委からの委嘱状配布

① 平成 29 年度経営計画等 校長より説明

② 平成 28～29 年度教育活動の概況、各種アンケートの結果等 副校長より説明

③ 各委員から質疑、ご意見・提言等

④ その他情報交換

5 各委員から質疑、ご意見・提言等

〈諏訪委員〉

・校内、町内で見かける雫石高校生徒の服装は、乱れがなく良いと思っている。

・国際交流事業は、継続が望ましい。受入事業のためには、前年度派遣が前提のようだが、積極的に取り組んでほしい。

〈熊谷委員〉

・青少年の管内指導案件等をみると、雫石高校生徒の指導・補導事案はなく、まじめな生徒たちという印象を持っている。

・夏休み中、トラブル等があったら、直ぐに連絡をしてほしい。

〈大倉委員〉

・各種アンケート結果から、生徒も保護者も雫石高校の満足度が高いことに安心した。授業内容の理解度が高いことは、高校の先生方が少人数指導に加え、さらにきめ細やかな指導をしていることを実感できた。

・中学校は、携帯電話(スマートフォン等)の持ち込みを禁止している。携帯電話の所持率の高いこと、1日の利用時間が2～3時間もあることは、心配なことでもある。

・雫石町からの支援は、ランチ補助のほか、新規支援もあり、ありがたい。中学生や保護者にも雫石高校の魅力を伝えていきたい。

〈その他〉

・新入生の確保については、町をはじめ関係団体と連携をとりながら、取り組んでいる。

・生徒の学習取組は、概ね良好である。週末課題等適切な宿題を与えるなど、家庭学習の定着を図りたい。

・在校生の減少により、部活動に影響があらわれてきた。